

St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度 (平成20年度)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/4728

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



XIV 広報活動

1. 学園ニュース

1) 2008年度委員会の開催

第1回	4月7日	14:00～15:00	新旧委員の引き継ぎ、退任中村綾子委員出席、第281号の校正
第2回	5月13日	14:00～15:00	第282号企画
第3回	6月10日	14:00～15:00	第282号編集・第283号企画
第4回	7月8日	14:00～15:00	第283号編集
第5回	9月9日	14:00～15:00	第283号編集
第6回	10月14日	14:00～15:00	第284号企画
第7回	11月11日	14:00～15:00	第284号編集
第8回	12月9日	14:00～15:00	第284号校正
第9回	1月13日	14:00～15:00	第285号編集
第10回	2月10日	14:00～15:00	第285号編集、286号企画
第11回	3月11日	14:00～15:00	第286号企画、編集

委員構成：教員3名（伊藤和弘、片岡弥恵子、沢田 秋）、事務局1名（稲田昇三）

2) 2008年度の主な活動

- (1) 281号から285号まで5回発行した。各号の企画内容は下表のとおりである。
- (2) 巻頭写真のテーマは「旧校舎の風景シリーズ」とした。
- (3) 今年度に取り上げた主な特集・話題は次のとおりである。
 - a. 第282号 西村哲郎先生の追悼特集
 - b. 第285号 創立記念講演会特集

【2008年度学園ニュースのテーマと内容】

	テーマ・内容	発行日	原稿執筆者
281号	1面 伝統と革新 2～4面 ルカのお仲間 熱烈歓迎 5～7面 新入教職員からのひとこと 8～10面 INFORMATION 学生部・健康管理室・事務局・教務部・図書館・看護実践開発 研究センター・21世紀 COE プログラム チャペルアワー 折込 校舎見取図、2号館見取図、2008年度学部卒業生・大学院修 了生進路（就職・進学）状況	4月28日	学長 井部 俊子 新入生 新入教職員 11名 委員長 黒白 夏妃
282号	1面 本学の社会貢献ー市民に開かれた看護サービス 2～3面 追悼・西村哲郎先生	7月10日	教授 菱沼 典子 学長 井部 俊子 司祭 上田 憲明 教授 田代 順子 准教授 有森 直子 聖路加国際病院 がん看護専門看護師 中村めぐみ

	<p>4面 聖路加看護大学の地域貢献 多世代交流型デイプログラムの実践 中央区民カレッジ報告 「赤ちゃんがやってくる」に学生ボランティアとして参加して 聖路加・テルモ共同事業について</p> <p>4面 2008年度自治会役員決定</p> <p>6～7面 2008・体育 DAY・3つの特徴</p> <p>私の体育 Day</p> <p>体育 Day と私</p> <p>体育 Day2008</p> <p>8面 日本看護系大学協議会 平成20年度総会について 5月オープンキャンパス</p> <p>着任挨拶</p> <p>国際交流「タイ・リベリア・日本の”アロイ”で”デリシャス”な”おいしい”夕ご飯</p> <p>9面 追悼 評議員 野邊地篤郎先生</p> <p>9～10面 INFORMATION 学生部・健康管理室・事務局・教務部・図書館・看護実践開発研究センター・チャペルアワー</p>		<p>教授 亀井 智子 准教授 廣瀬 清人 3年 鈴木 彩加 教授 小口江美子</p> <p>体育 Day 委員長3年 花島 彩子 学士10回生 上田 直子 2年 藤田 祥子 武居英里子 1年 添田 桜</p> <p>教授 山田 雅子</p> <p>広報委員会 助教 糸井 和佳 客員教授 渡部 尚子 学士11回生 林 儀一</p> <p>委員長 黒白 夏妃</p>
283号	<p>1面 ボランティア活動の再認識と地域社会への貢献を</p> <p>2～3面 私たちのボランティア活動 みんなで作ってきた「いちごフレンド」 ともだち（ナイトフレンド） Kさんのボランティア（だいじょ部）</p> <p>野外を楽しむーYMCA-SMILEーの活動 ボランティアに関わる看護ネット・ホームページの紹介</p> <p>4～5面 私の夏休み 夏休み、バスの中での出会い</p> <p>密やかな愉しみ</p> <p>私の夏休み アーカイブス・カレッジで学んだこと アメリカの看護学生の臨地実習について ーヴィラノバ大学垣交換研修に参加してー タイ・マヒドン大学での研修 かけがえのない思い出</p> <p>6面 41年間の歴史に幕ー学部助産課程閉講記念パーティを催す 新たな出発を期して</p> <p>日本の HIV・エイズケアー文化・習慣の違いから見えてくるもの</p>	10月30日	<p>教授（国際看護学） 田代 順子</p> <p>3年 長澤 裕美 3年 宇田川 愛 4年 新井麻奈美</p> <p>4年 今泉 綾乃</p> <p>准教授（基礎看護学） 大久保暢子 准教授（母性看護・助産学） 江藤 宏美 図書館司書 新沼 久美 3年 若松 香織</p> <p>3年 荒居 康子 3年 小池 沙織 3年 山野辺恵子 3年 村田麻喜恵 助教（母性看護・助産学） 大隅 香 卒業生（Class of 2004） 櫻井佐知子 カリフォルニア大学 サンフランシスコ校 大学院 神谷英美子</p>

	<p>7面 8月オープンキャンパス 7～8面 INFORMATION 学生部・健康管理室・事務局・教務部・新入教職員紹介・図書館・看護実践開発研究センター・チャペルアワー</p>		<p>広報委員会 廣岡佳代 (成人看護学助教) 委員長 黒白 夏妃</p>
284号	<p>1面 今日このクリスマスに 2面 クリスマス?だからなあに? 聖路加の思いと立教のクリスマス 思い出のクリスマス 今年のクリスマスに向けて 4～5面 第32回白楊祭“2008初11月1・2日 「個性～キラリと光る何かを見つけて～ 白楊祭実行委員、ダンス部部員としての白楊祭を終えて 個性 フリーマーケット チャレンジに悔いなし!青春 again☆2008 6～7面 素敵なナース 実習を終えたところで、実習で出会った素敵なナースを紹介 していただきました 私の出会った素敵な“スーパー★ナース” パワフル助産師さん 私の出会った素敵なナース</p>	12月17日	<p>学生部長 松谷美和子 (看護教育学教授) チャプレン ケビン・シーバー 事務局長 山口 喜義 研究センター 助教 實崎 美奈 2年 黒白 夏妃 実行委員長 2年 横川 彩夏 2年 平木 彩子 1年 岸本 梨沙 2年 里見 全代 学士10回生 白田千佳子 3年 草深 志帆 4年 宮田ゆりえ</p>
	<p>7面 21世紀 COE プログラムの事後評価を頂きました 「適切な学びの環境の実現」にむけた標語・ロゴマーク・ ポスターコンテスト 各賞決まる 7～8面 INFORMATION 学生部・健康管理室・事務局・教務部・図書館・看護実践開 発研究センター・ チャペルアワー</p>		<p>教授(成人看護学) 小松 浩子 学生部 委員長 黒白 夏妃</p>
285号	<p>1面 「できる」壁、「できない」壁 2面 2008年度聖路加看護大学創立記念講演会 「看護教育者としての私の人生」 3面 表彰システムについて 各賞受賞者より 学長賞(グッドプレゼンター) ベストティーチャー賞 Dr.Holzemer 賞 4～6面 卒業・修了にあたってのひとこと さ・よ・う・な・ら 私の学舎 面 学園の敷地内禁煙の実現 7～8面 INFORMATION 学生部・健康管理室・事務局・教務部・図書館・看護実践開 発研究センター・チャペルアワー</p>	3月5日	<p>学部長・研究科長 堀内 成子 永井敏枝先生 教授 山田 雅子 4年 近藤 華子 助教 卯野木 健 助産上級実践コース 佐藤友美、白井 希 園田 希、中山智恵 船津美帆、水島祐子 卒業生・修了生 教授 松谷美和子 委員長 黒白 夏妃</p>

2. 受験生への広報

委員長：森 明子

委員：廣瀬清人，大森純子，糸井和佳，廣岡佳代，進藤 務，河合智子，新沼久美

2008年度広報委員会は、大学入学広報に焦点を当て、学部・編入学、また、大学院をめざす受験生やそのご父母および予備校等に本学の選択と入試について役立つ情報の提供を念頭において今年度予算5,460,000円で下記の活動を行った。

1) 見学者への対応

毎週火曜日と金曜日の午前10時と午後2時から本学見学を熱心に希望する個人を対象に資料を配布して学内を案内している。これとは別に中学校や高校などを単位とした見学依頼に対応している。これは本学の施設を見学してもらうというだけでなく、将来的に本学を受験する可能性を念頭におく、あるいは本学志望者数の増加拡大を念頭においたものである。見学の受け入れ先、受け入れ人数は2008年4月から2009年3月までで以下のとおりである。

・個人対象 87名

・2008年4月30日	千葉市立稲毛高校	6
10月8日	広島県立呉宮原高校	12
〃	広島県立賀茂高校	6
10月16日	旭川藤女子高校	2
10月23日	群馬県立伊勢清明高校	30
11月20日	沖縄球陽高校	7
12月3日	大分県立竹田高校	19
12月11日	宮崎県立妻高校	4

2) 大学案内パンフレット改訂版の作成

2006年度版から栄美通信(株)と3年契約で作成してきた白い表紙で十字架の1号館と本学校舎をイメージしたパンフレットを全体の構成は従来どおり、学生の取材写真など一部を入れ替えて表紙デザインも一新して大幅な修正を行った。また、詳細に内容確認を行い、公開セミナーの説明を削除して看護実践開発研究センターの内容を増やしたり、クラブ・サークル活動の活動状況などを訂正した。パンフレットの改訂にあたっては普段から年間を通じて大学周囲の風景や植栽、あるいは学生生活や年中行事などを写真撮影しておくことが大切である。今後大学広報の重要性がますます叫ばれるなかでホームページと同様に大学案内パンフレットの充実がさらに重要になると思われる。

発行部数：6500部 発注先：栄美通信(株)

3) 情報誌『ウエルカム』改訂版の作成

昨年版の『ウエルカム』をベースに表紙のデザイン、表紙裏の行事の写真などを入れ替えて改訂版を作成した。5月のオープンキャンパスに間に合わせるべく入学したばかりの新生に原稿を依頼して受験生の目線で本学の紹介を行った。『ウエルカム』は大学案内パンフレットとは別に在校生の生の声を直接知ることができるという点で受験生に大変好評である。作成にあたっては学生広報委員と学生の新聞部「ほっとストリート編集部」に多大な協力を得た。

増刷部数：2,000部，発注先：瀬見証券印刷(株)

4) 広告掲載について

今年度広告掲載を依頼した主な先は以下のとおりである。

キリスト教年鑑、高校生新聞、産経新聞都内版、聖公会手帳、聖公会新聞、キリスト新聞、教育学術新聞、新宿セミナー「プロGRESS」、プレナーシングなど

5) 聖路加国際病院「一日看護体験」での資料配布

7月28日に聖路加国際病院で行われた高校生などを対象とした「一日看護体験」の参加者を対象に大学案内パンフレット、大学グッズなど資料を配布して8月のオープンキャンパスの参加を勧誘した。

6) 学士編入学、大学院に関する広報活動

オープンキャンパスで一般入試志望の受験生とは別に学士編入の受験生席を設けて専用の資料を準備した。また、学士の学生が懇談会で説明にあたるよう配慮した。白楊祭での大学説明コーナーでも同様の対応をして受験生のニーズに応えた。大学院に関する広報活動は各専攻と各領域に委ねられており、大学院志望者に対するオープンキャンパスなどの対応は行っていない。今後他の看護系大学で大学院設置が増えるにしたがって広報委員会として志願者を増やす取り組みがますます必要となると思われる。

7) オープンキャンパス・大学説明会

(1) オープンキャンパスの実施

昨年度に引き続き、本年度も夏休み初旬の2日間に加えて5月17日にも開催し、8月2日、3日の合計3日間にわたり、学部ならびに学士編入学を希望する受験生を対象にオープンキャンパスを実施した。当日のプログラムの内容は、①資料配布後、講堂で本学および入試全般に関するガイダンスと公開模擬授業（5月精神看護学、8月2日小児看護学、8月2日成人看護学）、②学内およびチャペル見学、③学生ボランティア受験生との懇談会などである。

参加人数は、5月が128名、8月が初日が502名、2日目が427名、2日間の合計が929名であった。アンケート回答者のなかでは高校3年生が49%、高校2年生が31%、高校1年生が7%と上位であった。年々保護者の参加者数が増加している傾向がある。学生ボランティアの協力者は5月が68名、8月2日が66名、3日が68名であった。受験生へのアンケート結果では、在校生との懇談会が参考になった、公開授業は大学の雰囲気がよくわかりよかったなどの意見がみられ、受験生に大変好評であった。

(2) 白楊祭への参加

11月1日(土)、2日(日)開催の白楊祭において「受験生何でも相談コーナー」が開催された。今年度は大学ホームページで相談コーナーの開催予告を行った。受験生が気軽に訪れやすい相談コーナーとなることを目指して、企画段階から学生広報委員が主体的に取り組み、広報委員と共に準備を行った。302教室で学校紹介のスライド上映、看護ネットなどのウェブサイトの閲覧、本学の資料展示、在校生によるPBLと懇談、入試相談などを行い、両日をあわせて109名の参加者があった。在校生によるPBLと懇談は特に好評で、和やかな雰囲気の中、学生ボランティアがPBLの問題を生き活きと設定し、また、数多くの学生ボランティアが具体的な学生生活などの本学入学後の生活をはじめ、本学の魅力について熱心に説明した。受験生も真剣で、

学生ボランティアに個別に質問をし、それを受け、学生ボランティアは真剣に対応していた。広報委員も適宜助言をし、学生ボランティアの取り組みを援助した。春夏のオープンキャンパスにすでに来校していた受験生も多く、その中でも高校1、2年生も数多くみられ、早い段階での広報活動が可能になった。

8) 予備校等での入試相談会等

今年度参加した予備校等への説明会は下記のとおりである。

実施日	場所	相談者数	本学出席者
7月12日	新宿セミナー新宿校	53名	糸井、廣岡、進藤
13日	東京アカデミー池袋校	26名	進藤
18日	新宿セミナー立川校	19名	廣岡、河合
18日	新宿セミナー千葉校	21名	江藤、進藤
19日	新宿セミナー横浜校	12名	進藤
19日	新宿セミナー大宮校	12名	大森、新沼
8月2日	新宿セミナー柏校	12名	進藤
12月13日	新宿セミナー横浜校	8名	進藤
17日	新宿セミナー柏校	8名	進藤
18日	新宿セミナー新宿校	30名	菱田、佐居
19日	新宿セミナー立川校	8名	廣瀬
19日	新宿セミナー大宮校	5名	安ヶ平
20日	新宿セミナー千葉校	8名	稲田、進藤

延べ13カ所

222名

看護系大学が増設されるなかで他の大学は入試相談会に2人あるいは3人など派遣して一人でも多くの受験生を確保したいという姿勢が窺える。受験生側も1年、2年の早い段階から入試相談会に出席して志望校の情報を得たいという情熱が感じられる。受験生に直接本学の特長やセールスポイントなどをアピールできる入試相談会は今後も大いに活用すべき機会である。

9) 大学院募集要項のインフォメーション記事掲載

大学院修士・博士課程の募集要項の内容を(株)照林社発行の「エキスパートナース」などにインフォメーション記事として掲載してもらうよう依頼、無料で掲載された。

10) 高校生新聞全国版への広告掲載

高校生新聞臨時増刊号に広告掲載を行った。また、これにより本学資料を希望する受験生に大学案内パンフレット、募集要項などを送付した。

発行部数：約55万部

11) 大学グッズの作成について

今年度はオープンキャンパス用に前回作成した不織布バッグを2,000枚、ロゴ入りボールペン、シャープペン、図書カードを作成した。図書カードについては多摩美術大学のオブジェが太陽を燦々と浴びる病院一号館前の芝生に設置されているデザインのものとし、オープンキャンパスの際の学生ボランティアに協力謝礼として配布したり、大学を来訪されたお客様などに記念として

配布し、大変好評であった。今後受験生に興味を持ってもらい、同時に本学のイメージをよい感じでアピールできる大学グッズの作成が期待される。

12) 大学広報・入試研究会などへの出席

6月6日六本木アカデミーヒルズで行われたゴートウースクール・ドットコム(株)による2008年度第1回大学入試・広報セミナー、7月5日ニューピアホールにおいて朝日新聞社主催で開催された大学トップマネジメントフォーラム、10月6日2008年度第2回大学入試・広報セミナーに進藤務委員が出席した。大学入試・広報セミナーにおいては最近の模擬試験を通して受験生の志望動向や受験情報収集の方法の傾向など具体的な情報を学ぶことができた。大学トップマネジメントフォーラムにおいては大手大学の学長が揃ってそれぞれの大学の特長や大学における人材育成の具体例や最近の動向などの報告がなされ、本学も学ぶべき点も多々あり、大いに参考になった。

また、7月12日に新宿セミナー新宿校で開催された2008年度看護医療系入試総括では予備校の職員による看護系受験生の具体的な動向について詳細な事例説明があり、その内容は今後の受験生対策の示唆に富むものであった。

13) 学生広報委員会との協働

昨年度に引き続き各学年2名ずつからなる学生広報委員会に毎回教職員の広報委員も参加し、オープンキャンパスや大学グッズに関する意見や情報交換などの活動が行われた。今後さらに学生広報委員会との協働が期待される。

14) 高校での資料頒布会への資料送付

(株)ライセンスアカデミーの要請により目白学園高校に本学願書を20部送付した。このほかにも地方の予備校から資料送付の依頼があり大学パンフレット、願書一式を送付した。

15) 高校への出前授業

(株)ライセンスアカデミーの企画による大学模擬授業のため、11月10日に千葉市立稲毛高等学校に出張し、模擬授業と大学案内の広報活動を行った。模擬授業のテーマは「出産と家族」で、森明子委員長が担当した。男子学生2名を含む12名の生徒が参加。千葉県の母子保健統計データを知る、パソコンの分娩機転の動画に見入る、布製の赤ちゃん人形や胎盤に触れるなどの機会となり、興味深そうな様子であった。弟妹の出産に立ち会ったという生徒もいた。半数以上が看護系大学への進学を検討しているとのことだった。

16) 大学ポスターの作成

受験生および高校1、2年生に対して本学の理念や雰囲気をもっと広く周知するため、今年度より新たに大学ポスターを作製することになった。(株)プリカに依頼し、大学案内パンフレットの写真と連動させ、A3サイズ1,000枚の作成(99,750円)を行った。完成後は学生広報委員が夏休みに訪れた母校に送付した。今後はオープンキャンパス案内などと共に送付するなど、活用が期待される。

17) その他

大学のホームページの大学案内資料請求を通じて年間を通して711件の資料送付を行った。また、ベスト進学ネットからは年間175件の大学案内や過去問題送付を依頼する申し込みがあり、それぞれ対応した。インターネットを活用した手軽な資料請求はますますニーズが高まると思われる。

18) まとめ

本年度は、入試委員会(2008. 6. 3付)より学部入学生を、研究科委員会(2008. 6. 17付)より大学院受験生を獲得するための方策検討の依頼があった。これらに対し、広報委員会独自には、新たに、在校生による母校訪問を利用した広報活動を実施し、大学や在校生により親しみを感じ、深く知ってもらうためのホームページの活用(動画挿入)、大学院案内パンフレットの作成を提案し、進めた。そして、体系的・多面的で戦略的な広報活動と、そのための専門家によるコンサルテーションの必要性について答申した。

その結果、全学的な意識啓蒙の取り組みとして、電通パブリックリレーションズによるFD研修会での講義「戦略広報・PR について～聖路加看護大学の広報戦略立案に向けて～」につながった。事務部には広報室が開設されることになった。『学園ニュース』を学内外広報誌としてとらえ、広報委員会と学園ニュース委員会との連絡を深めていくことなども委員長部課長会議で話し合われたことを付け加えておく。

3. ホームページ管理室

1) 現状および活動状況

本学ホームページは、昨年度まで『広報委員会』と統合された形で活動していたが、今年度からは広報委員会と切り離され新体制でスタートした。

情報更新作業などの運営管理は大学事務局が担当し、各ページに掲載されている内容についての情報管理は下表に示した部署が担当した。

トップメニュー	サブメニュー名 (担当ページ)	担当部署
大学案内	ごあいさつ	事務局
	建学の精神・理念	
	本学のあゆみ	
	組織	
	海外との学術交流	教務・国際担当
	大学情報	事務局・経理
	大学周辺ガイド	広報委員会
大学〔看護学部〕	カリキュラム	教務
	学士編入制度	
	姉妹校・留学制度	
	立教大学との単位互換制度	
	教育スタッフ紹介	
	資格・免許	
	シラバス	
大学院	修士課程 (看護学専攻)	教務
	修士課程 (ウィメンズヘルス・助産学専攻)	
	カリキュラム (修士課程)	

	博士課程	
	カリキュラム (博士課程)	
	社会人入学制度	
	T A ・ R A	
	大学院 [科目等履修生]	
	研究員制度	
	教員スタッフ紹介 (専門分野)	
	教員スタッフ紹介 (基盤分野)	
	シラバス	
継続教育	科目等履修生	教務
	研究センターの紹介	センター
	公開講座 (公開セミナー)	公開セミナー委員会
入試・入学案内	学校見学・説明会	広報委員会
	資料請求	教務・広報・総務
	大学 [看護学部]	教務・総務
	大学院 [修士課程]	
	大学院 [博士後期課程]	
	学費一覧	経理
	入試の情報開示について	教務
キャンパスライフ	年間行事	教務・総務
	学生窓口案内	総務 (学生課)
	各種証明書の申請	
	各種相談	学生課・教務課・ 広報委員会
	奨学金制度	総務 (学生課)
	クラブ・サークル活動	学生部
	在学生の声	広報委員会
	施設利用ガイド	管財課
	学園祭	学生部
	国際交流	教務 (国際担当)
	健康生活	健康管理室
	福利厚生	総務 (学生課)
	防災	学生部
	卒業後の進路	
	関連機関 (リンク関係)	
※英語サイトについては、広報委員会・教務(国際担当)が担当。		

なお、今年度は約 37 件の記事掲載または更新の申請があり、記事の作成・更新を行った。

2) 今後の課題

年々、大学においてホームページは受験生獲得のための広報ツールとして重要視されてきてい

る。本学もより多くの受験生を獲得するために、ホームページは広報活動の一環として効果的に組み込まれ、活用されることが望ましく、広報活動及びホームページを担う専任職員または部門の設置は悲願である。

掲載情報についていえば、第一のターゲットである受験生に対しての情報は最低限足りているといえるが、より多くの受験生を獲得するためには聖路加看護大学ならではのプラス材料として生かせる情報を効果的に掲載するような更なる取り組みが必要である。

しかし、これらの企画や Web ページ作成業務を日々の業務に追われている兼任のスタッフで対応するには限界があるため、大学として今以上にホームページによる広報活動を期待するのであれば先に述べたような専門部門の設置またはアウトソーシングによる広報業務の委託など新たな管理体制が必要だろう。

また、将来的に向けての活動としては、本学ホームページを受験生だけをターゲットにしたサイト運営ではなく、看護大学として地域社会に貢献できるような情報の提供や、本学卒業生・修了生に向けた有益な情報提供などサービスの拡大が必要となってくることも視野においた取り組みが望まれるであろう。